

Systemlogに出力するイベント一覧

出力形式

<日付> <ホスト名> <サービス名>: ESMPRO_AC: [<イベントID>] <message>

出力例

Apr 1 00:00:00 hostname esmarcsv: ESMPRO_AC: [ID=1411] 電源異常が発生しています。(UPS(SUPS_001):[IP=192.168.1.1])

※一覧表の「通報」欄に「○」が記述されているメッセージは、ESMPRO/ServerManagerのアラートビューアに通報されます。

イベントソース名: ESMPRO/AC

①運用時のログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express 通報	メッセージ	説明
1001	情報	×	×	ESMPRO/ACサービスが起動しました。	ESMPRO/ACサービス起動時に記録されます。
1002	情報	×	×	電源切断条件が成立しました。サーバのシャットダウン処理を開始します。	ESMPRO/ACが監視している電源切断要因が成立し、サーバのシャットダウンを行う時に記録されます。 起動ジョブが設定されている場合はジョブが実行された旨のメッセージが表示されます。
				電源切断条件が成立しました。サーバのシャットダウン処理を開始します。(job started)	

1102	エラー	○	○	自動電源制御装置との通信異常 [data0:*****] [data1:***]	<p>ACサービス起動時に自動電源制御装置との通信異常が発生した時に記録されます。</p> <p>自動電源制御装置の構成情報に問題がある場合、[data0:Not Found ComputerName][data1:Fail]が記録されます。</p> <p>ESMPRO/ACサービスがSNMPカードを使用して動作している場合、SNMPカードへ設定したIPアドレスがESMPRO/ACの設定情報と一致していない、SNMPカードへのアクセス権の設定が正しく行われていない、または、自動電源制御装置側でHW不良が発生している等が考えられます。その場合、[data0:SNMP ConnectionStatus][data1:Fail]が記録されます。</p> <p>ESMPRO/ACサービスがUPS制御ソフトウェアと連携して動作している場合、UPS制御ソフトウェア側の自動電源制御装置のCOMポート設定が間違っている可能性があります。または、RS-232Cケーブルの接続不良や、COMドライバの設定不良により、UPS制御ソフトウェアが動作していない場合等が考えられます。その場合、[data0:PowerChute Business Edition][data1:not working]が記録されます。</p> <p>本イベント発生時は、自動電源制御装置構成情報の設定および接続状態を確認してください。</p>
1103	エラー	○	×	サービス内部処理で致命的なエラー	<p>ESMPRO/ACサービス内部の処理で致命的なエラーが発生した時に記録されます。ESMPRO/ACサービスは、強制終了します。メモリ不足などによって、サービスが必要とする資源を取得する事ができなかった場合や、ハードウェアに異常がある可能性があります。(****)には発生要因が表示されます。</p> <p>本イベント発生時は、ESMPRO/ACサービスを再起動して下さい。</p>
				サービス内部処理で致命的なエラー(****)	
1106	エラー	○	×	サービス内部処理でエラーが発生(****)	<p>メモリ不足、OSの異常動作、ハードウェア異常等によって、サービスが必要としている資源を取得することができなかった場合等に記録されます。サービスは処理を継続するが、このメッセージ表示後の正常動作は保証されません。(****)には発生要因が表示されます。</p> <p>本イベント発生時は、サービスを再起動して下さい。</p>

②電源異常関連ログ情報

ID	種類	マネージャ 通報	Express 通報	メッセージ	説明
1403	警告	×	×	電源異常によりシャットダウンを行います。	電源異常シャットダウンが行われる時に記録されます。
				電源異常によりシャットダウンを行います。****)	電源異常シャットダウンが行われる時に記録されます。 ****:job started 電源切断時の登録ジョブ実行済み job started : power fail 電源異常時の登録ジョブ実行済み

③ESMPRO/AC Enterprise関連ログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express 通報	メッセージ	説明
1410	警告	○	×	通信異常が発生しています。(UPS(****):[IP=****])	UPS(****: UPS名,IPアドレス)との通信異常が発生した時に記録されます。 LANケーブルの接続不良、SNMPカードへ設定したIPアドレスがESMPRO/ACの設定情報と一致していない、SNMPカードへのアクセス権の設定が正しく行われていない、または、自動電源制御装置側でHW不良が発生している等が考えられます。 通信異常が回復した場合は「ID:1430」が記録されます。
1411	警告	○	○	電源異常が発生しています。(UPS(****):[IP=****])	UPS(****: UPS名,IPアドレス)に電源異常を検知した時に記録されます。 電源異常が回復した場合は「ID:1430」が記録されます。
1412	警告	×	×	電源異常(トリム)が発生しています。(UPS(****):[IP=****])	UPS(****: UPS名,IPアドレス)に電源異常(トリム)を検知した時に記録されます。 電源異常(トリム)が回復した場合は「ID:1430」が記録されます。
1413	警告	×	×	電源異常(ブースト)が発生しています。(UPS(****):[IP=****])	UPS(****: UPS名,IPアドレス)に電源異常(ブースト)を検知した時に記録されます。 電源異常(ブースト)が回復した場合は「ID:1430」が記録されます。
1414	警告	×	×	電源異常(バッテリー温度異常)が発生しています。(UPS(****):[IP=****] now:** deg C configuration range(** - **))	UPS(****: UPS名,IPアドレス)で、電源異常(バッテリー温度異常)状態が一定時間以上継続した場合に、記録されます。(now:現在の温度, configuration range:温度チェック範囲) 温度異常が回復した場合は「ID:1430」が記録されます。
1419	エラー	○	○	電源異常(故障)が発生しています。(UPS(****):[IP=****] (BypassFail))	UPS(****: UPS名,IPアドレス)に電源異常(故障)を検知した時に記録されます。
1420	警告	×	×	電源異常により切り離しました。(UPS(****):[IP=****])	冗長電源構成の場合にUPS(****: UPS名,IPアドレス)に電源異常を検知し、切り離した(OFFする)場合に記録されます。 切り離しが解除された場合は「ID:1431」が記録されます。
				電源異常により切り離しました。(UPS(****):[IP=****] (auto reboot))	冗長電源構成の場合にUPS(****: UPS名,IPアドレス)に電源異常を検知し、切り離した場合に記録されます。 復電時にUPS(****: UPS名,IPアドレス)は自動起動されます。 切り離しが解除された場合は「ID:1431」が記録されます。

1421	警告	×	×	電源異常によるシャットダウン制御を行います。(Server(**):[IP=**])	接続しているUPSが電源異常のため、SERVER(****:SERVER名, IPアドレス)のシャットダウンを開始する場合に記録されます。
				電源異常によるシャットダウン制御を行います。(Common-UPS power fail -Server(**):[IP=**])	連動装置として接続しているUPSが電源異常のため、SERVER(****:SERVER名, IPアドレス)のシャットダウンを開始する場合に記録されます。 ※ 連動装置として接続しているUPSの電源異常で制御端末も一緒にシャットダウン対象となるAMCツリーの場合はID:1421の「(Server(**):[IP=**])」側のメッセージが出力されます。
1422	情報	×	×	シャットダウン制御を行います。(Server(**):[IP=**])	SERVER(****:SERVER名, IPアドレス)が切断要因の成立等によってシャットダウンを開始する場合に記録されます。
1423	情報	×	×	電源OFF制御を行います。(Server(**):[IP=**] **)	UPS以外の手段で、SERVER(****:SERVER名, IPアドレス)で示すサーバの電源OFF制御を、**のデバイス(ICMBなど)制御により行った際に記録されます。
1424	情報	×	×	電源ON制御を行います。(Server(**):[IP=**] **)	UPS以外の手段で、SERVER(****:SERVER名, IPアドレス)で示すサーバの電源ON制御を、**のデバイス(LAN, ICMBなど)制御により行った際に記録されます。
1430	情報	×	×	電源が正常状態に復帰しました。(UPS(****):[IP=****])	UPS(****:UPS名,IPアドレス)の電源が正常状態に復帰したことを確認したときに記録されます。
1431	情報	×	×	電源異常による切り離しは解除されました。(UPS(****):[IP=****])	UPS(*****:UPS名,IPアドレス)の電源異常を検知し、UPSの切り離しが解除された場合に記録されます。
1434	警告	○	○	バッテリー状態の消耗を検出しました。早急にバッテリー交換する必要があります。(UPS(****):[IP=****])	SNMPにて監視中のUPS(****:UPS名,IPアドレス)で、バッテリー状態の消耗が検出されました。該当するUPS HWを確認してください。
1435	情報	×	×	通信異常が発生しているUPSが存在するためサーバのシャットダウン処理を抑制します。(Server(**):[IP=**])	UPS電源異常時にUPSとの通信異常が発生しているため、SERVER(****:SERVER名, IPアドレス)のシャットダウンを抑制する時に記録されます。
1436	情報	×	×	通信異常が発生しているUPSが存在するためサーバのシャットダウンの代わりにシャットダウンリブートを実行します。(Server(**):[IP=**])	スケジュール運転時にUPSとの通信異常が発生しているため、SERVER(****:SERVER名, IPアドレス)のシャットダウンの代わりにシャットダウンリブートを実行する時に記録されます。

④電源投入／切断時の登録ジョブ起動機能実行時のログ情報

ID	種類	マネージャ通報	Express 通報	メッセージ	説明
3101	エラー	○	×	電源切断時の登録ジョブ起動の失敗...	電源切断時の登録ジョブ起動機能が設定されているが、登録ジョブファイルにアクセスできない時に記録されます。登録ジョブファイルが存在しないかジョブ登録ファイルのアクセス権不一致が考えられるため、ファイル状態を確認して下さい。
3102	エラー	○	×	電源切断時の登録ジョブ起動のタイムアウト...	電源切断時の登録ジョブ起動機能で設定されているタイムアウト時間内にジョブを終了する事ができなかった場合に記録されます。本イベントが記録された時は、タイムアウト時間を延長するか登録ジョブを見直して下さい。
3103	エラー	○	×	電源切断時の登録ジョブの設定異常...	電源切断時の登録ジョブ起動機能が設定されているが、登録ジョブファイルに登録されているジョブが1つもない場合に記録されます。
3104	エラー	○	×	電源切断時の登録ジョブの設定パス異常 [****]	電源切断時の登録ジョブ起動機能で、登録されているジョブ(****)を実行する事ができない場合に記録されます。本イベントが記録された時は、登録ジョブ情報が間違っている可能性があるため、登録情報の内容を確認して下さい。
3106	情報	×	×	電源切断時に登録された起動ジョブが、すべて完了しました。	電源切断時の登録ジョブ起動機能で、登録されているすべてのジョブの起動から終了までが正常に行われた場合に記録されます。
3202	エラー	○	×	電源投入時の登録ジョブ読み込みエラー...	電源投入時の登録ジョブ起動機能が設定されているが、登録ジョブファイルに登録されているジョブが1つもない場合に記録されます。

3203	エラー	○	×	電源投入時の登録ジョブ起動の失敗 [****]	電源投入時の登録ジョブ起動機能で、登録されているジョブ(****)を実行する事ができない場合に記録されます。本イベントが記録された時は、登録ジョブ情報が間違っている可能性があるため、登録情報の内容を確認して下さい。
------	-----	---	---	-------------------------	---

⑤その他

ID	種類	マネージャ 通報	Express 通報	メッセージ	説明
1600	情報	×	×	AMC と接続しました。	ACサービス起動後に制御端末と正常に通信した時に記録されます。